

町田市議会議員・納税者主権

吉田つとむ

良識ある保守主義を目指す

町田市議会

〒194-8520

東京都町田市

森野2-2-22

☎042-724-2171

保守の会会派室



2017 年秋の撮影写真

防災会議に建設業は入れない

町田市防災会議の構成メンバーに建設業の人材が無いことについて尋ねました。

災害時に大きな役割を発揮してくれる、建設業界の人材が参加していないことに奇異を感じました。この会議には、市議会では議長と常任委員長、災害対策委員長が出席しますが、前期に議長を務めたことで、議員2期目に総務委員長を務めた以降に久しぶりに出席したことで、そのメンバー構成に疑問を感じた次第でした。



町田市では水害、雪害が発生した際にその業者に出動をお願いすることがあり、また、防災訓練に際しては多数の業界人が多数の重機を持って参加してくれていますが、防災の基本対策を練ったり、防災訓練の次第を決める会議においては、その参加を認めておらず、今後もその参加を排除する方針であることが説明されました。

町田市では、企画や計画の会議には建設業などの現業系の人材の参画を想定していませんが、いざ、大きな災害が訪れた際、果たして有効に対処できるか、さらに疑問が増しました。

当初予算に反対した理由

町田市の当初予算案に反対しました。通常は少々の不満や不足の感があったにしても、これまで賛成をしてきました。

今年度予算案に関して、その作成が市長の改選（2月25日選挙、3月9日就任）を前提とした骨格予算であるべきものであるが、不思議に市長の目玉政策である、「陸上競技場観客席増設の実施設計委託料」が計上されていたことが意外でした。絞り込んで60億から50億に見積もりを下げたという説明ですが、市民生活に直結する公共施設を多数廃止や縮小する構想とのバランスがあまりに取れていないと考えました。



税金を全く投入せず、全額民間の寄付でできた、市立吹田市サッカースタジアム

あわせて、こうしたサッカー場の建設であれば、民間のスポンサーが集って施設を造るのが財政上の健全な発想だと考えており、これまでに大阪府吹田市の例を紹介しました。この吹田市では、今の施設建設に公費が使われなかっただけでなく、将来の建て替えも公費を使わないという条件が付けられていました。町田市では、思いもつかない健全思想だと思っています。

★ 政党無所属・市議会の会派は保守の会 総務常任委員会に所属

URL <http://j-expert.jp/> 動画 <http://jp.youtube.com/yoshidaben>



メール送信

編集者 〒194-0011 町田市成瀬が丘 1-14-12 サンホワイトE103-13 吉田つとむ（自宅）

町田市議会議員 **3 期連続トップ当選**

吉田 つとむ

取材・記事作成・総合編集



左上はブログ
右上は新規の
ビジュアルサイト



インターン生募集中

研修レポート③宇都木彩名

町田市民ホールで行われた、町田市民交通安全の集いイベントに行きました。こちらは今回で 21 回目の開会となります。

式典での開会の言葉や主催挨拶、来賓挨拶からイベントが始まりました。石阪市長の挨拶、また新しく議長に着任した若林議員の挨拶を私は観客席から聞いていました。私は若林議長を今回初めて拝見し、颯爽とした議長だという印象を受けました。イベントでは交通安全講話や健康体操などが行われました。これは NPO 法人高齢者安全運転支援研究会が中心となって進められました。私は講話で、外出する際の注意点や夜道を歩くときの服装など、事故に遭わないための工夫が大切だと学びました。特に夜道、車に自分の姿を見つけてもらうために欠かせない反射板。この反射板は靴に貼ったり、カバンに下げたりする活用法があります。日常的に使うアイテムにひと工夫するだけで、身の安全の度合いはかなり変わってきます。

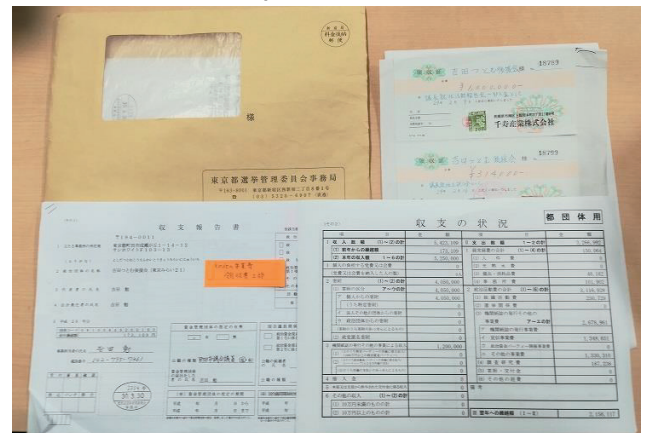
事故というものはいつ発生するかわかりません。私たちは常日頃から車に対して警戒し、対策をするべきなのだと感じました。



宇都木彩名 津田塾大新2年生(第39期生)

政務活動費と政治資金、 選挙の収支報告書を提出

この間、多数の書類を作成し、それぞれを期日までに提出しました。まずは、町田市議会議員選挙の終了後に、選挙の収支報告書を提出しました。主要には、選挙事務所設置に関する費用が第一番目になります。それに事務所や選挙カーの看板類の費用がそれに続きます。選挙ポスターの支出は公費負担の対象になっています。



次いで、政治資金収支報告書の作成に当たりました。演説会の開催ポスター、その掲示板作成費が必要となります。さらに、市議会活動広報紙、パンフレットの作成、新聞折り込み等の費用が最も多額になるものです。通常、この駅頭で配布する「市議会報告」は、自費で政治資金収支報告に加えています。

最後は政務活動費ですが、地方の視察や研修セミナーの開催費用に充て、B4サイズで発行する「市議会報告」がそれを充当しています。オーバーする分は自己負担としています。議員が日常の活動をより広報するのは、情報公開の時代に必須課題だと思います。

★ 吉田つとむのインターンシップは 1998 年に開始、町田市役所のインターンシップ受け入れや、中学生の職場体験に先行実施

★ 大学生・院生を対象に、議員活動に同行することを通じて社会勉強を支援しています。

* この市議会報告の印刷、発行経費に関して、市議会の政務活動費は使用していません。